

単元名 どれみと なかよし

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 曲想と音階などの音楽の構造との関わりに気付くとともに、階名で模唱したり暗唱したり、音高に合わせて体を動かしたりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律やその変化、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつことができる。
- (3) 階名と音高との関わりを感じて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070103_001

【教材名】どれみの うた（鑑賞 歌唱） どれみのキャンディー（歌唱）（P. 28～P. 31）

【準備等】範唱CD，教科書P. 28～P. 29の拡大図，「どれみのたいそう」の掲示物

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「どれみの うた」を聴いたり「どれみのたいそう」をしながら歌ったりする。</p> <p>○「どれみの うた」の範唱を聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>★どれみに あわせて からだを うごかそう</p> <p>○「どれみの うた」を歌う。</p> <p>○「どれみのたいそう」をする。</p> <p>○速さを変えたり、音ごとに分担したりしながら「どれみのたいそう」をする。</p> <p>○繰り返し「どれみのたいそう」をしながら、階名で歌う</p> <p>○鑑賞曲「どれみのうた」を体を動かしながら聴く。</p> <p>・歌いながら聴く。</p> <p>・「どれみのたいそう」をしながら聴く。</p> <p>○範唱に合わせて、「どれみのキャンディー」を歌う。</p> <p>3～4 体を動かしながら「どれみのキャンディー」を歌う。</p> <p>○「どれみのキャンディー」を「どれみのたいそう」をしながら歌う。</p> <p>★うたに あわせて からだを うごかそう</p> <p>・歌と動きを分担して表現する。</p> <p>・音階の部分で歌いながら動く。</p> <p>・友達の表現を見合う。</p> <p>○自分たちの「どれみのたいそう」をつくる。</p>	<p>・音の高低を意識できるようにするため、教科書P. 28～P. 29の拡大図を用意するとよい。</p> <p>・音階を基にした曲であることを知らせる。</p> <p>・歌詞を見ながら、CDや伴奏に合わせて歌わせる。</p> <p>・それぞれの手の位置を確かめながら、身体表現をさせる。</p> <p>「どれみのたいそう」</p> <p>例1 ド…気をつけの姿勢 レ…両手を少し開く ミ…両手を腰に ファ…両手を胸に ソ…両手を肩に ラ…両手を頬に シ…両手を頭に ド…両手を上に</p> <p>例2 両手をひざに 気をつけ 両手を腰に 手を胸の前でクロス 両手を肩に 両手を頭に 頭の上で手を打つ 両手を上に</p> <p>・ドレミが音の高さを表すことを意識できるように、手の高さと言音の高さの関係に気付かせる。</p> <p>・「まなびリンク」の動画を活用してもよい。</p> <p>・始めはゆっくり練習して、だんだん速くしていく。また、グループごとや列ごとなどで、「ド」「レ」「ミ」…を分担する。</p> <p>【共通事項】音階</p> <p>【評】音階に合わせてどれみのたいそうをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・曲に合わせて大きな動きができるように教師が見本となって「どれみのたいそう」をするようにする。</p> <p>・自分たちで「どれみのたいそう」を工夫してもよい。</p> <p>・歌詞に音階が現れ、その音から各フレーズが始まる楽しさに気付かせる。</p> <p>【評】体を動かしながら「どれみのうた」を聴く活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・歌詞の「どれみふあそらしど」の部分と一緒に歌う。</p> <p>・曲の気分に合わせて、「どれみのたいそう」をしたり、自由に体を動かしながら歌わせる</p> <p>・曲に合わせて大きな動きができるように教師が児童と一緒に体を動かす。</p> <p>・「どれみのたいそう」を参考にして、自分たちのやりやすい動きを考えさせる。</p> <p>・全体で見合いながら、簡単で覚えやすい方法を見付け、クラスの「どれみのたいそう」にする。</p>

○「どれみのキャンディー」を，体を動かしながら歌う。

○「どれみのキャンディー」に合った歌い方や動きを工夫する。

- ・「ほーらー」の歌い方や身振りを工夫する。
- ・声の出し方に気を付ける。
- ・曲の最後の部分を「どれみのたいそう」をしながら歌う。

【評】「どれみのキャンディー」を階名で歌ったり，音の高さに合わせて体を動かしたりする活動を通して「技能」を評価する。

- ・歌詞や旋律の感じに合わせて，自由に表現させ，音の高さの変化に気付かせる。
- ・リレー演奏などで，一人一人の音程や声の出し方などを確認する。

【共通事項】旋律

- ・2分音符の下降音型があることで，前半部分と旋律の感じが異なることに気付かせる。
- ・弾んで歌うところとなめらかに歌うところを意識して歌わせる。
- ・声の出し方や体の動きを変えて歌わせる。

【共通事項】変化

【評】「どれみのキャンディー」の旋律の変化や音階を感じ取って歌う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】